

地区会開催

◆九州・沖縄地区会

平成25年11月26日(火)、ステーションホテル小倉において、九州・沖縄地区会(代表幹事：清水喜文、安川情報システム(株) 代表取締役社長)が開催された。参加者21名。

冒頭、新たに就任された清水九州・沖縄地区会代表幹事が、福岡での開催が多かった地区会を市政50周年を迎えた北九州市を活性化するために同市に決めたことや最近の九州地区の経済状況を説明した後、九州、沖縄地区の情報サービス業の市場規模は全体の4%に満たない状況であり、課題は如何にして自らソリューションを生み出すことではないかと思っている。政府の情報政策の一つである地方活性化が特に九州地区の新たな雇用につながることを期待していると開会の挨拶をされた。

続いて、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課・柳田大介課長補佐が経済産業省の情報政策について、IT戦略の目標と経済産業省の役割、新たな価値創造産業の創出及び産業競争力強化法案の概要について紹介した後、情報政策関連の平成26年度概算要求及び税制改正要望について説明があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(特サビ動態統計、DI調査、経済センサス活動調査)の説明の後、税制改正案、国際会議関係、「自治体情報システムのクラウド化について」(内閣CIO及び総務省へ提出)、「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準」(37号告示)に係る疑義応答集(第2集)に関する意見(厚生労働省へ提出)、平成24年度地域連携推進事業報告書の概要等、最近のJISA活動状況について報告があった。

休憩を挟んで、(株)ことほぎ・代表取締役の白駒妃登美氏による『歴史が教える 日本人の生き方』と題する講演が行われた。同氏は“博多の歴女”として、歴史講座を積極的に展開しており、日本人らしい生き方をした歴史上の人物として、東京オリンピック開催を実現させた日系実業家のフレッド・イサム・ワダ(和田勇)氏、来年のNHK大河ドラマの主人公である福岡藩の藩祖・黒田官兵衛を取り上げ、それぞれの生き方について感動的な紹介をした。

(菊池)